

留萌川の減災に関する取組方針 フォローアップ

大項目	中項目	小項目	取組機関	目標時期	スケジュール(上段:計画、下段:実績)								R4取組内容	R5以降取組内容	
					H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4				
ハード対策の 主な取組	■洪水を河川内で安全に流す対策	堤防整備(幌糠地区)	留萌開発建設部	完成	■	■	■	■	■	■	■	■			
		河道掘削(留萌市街地区、樽真布地区)	留萌開発建設部	継続	■	■	■	■	■	■	■	■	■	○河道掘削を実施(留萌開建)	○継続実施(留萌開建)
	■危機管理型ハード対策	堤防天端の保護、堤防法尻の補強	留萌開発建設部	完了	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
		住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供のシステム構築	留萌開発建設部	継続	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	○スマートフォン版「川の防災情報」をH28年度より供用中(留萌開建)
	旭川地方気象台		継続			■	■	■	■	■	■	■	■	○キキクル(危険度分布)「黒」の新設と、「うす紫」と「濃い紫」の統合に伴い、スマートフォンでの表示を改善(R4.6)(地方気象台)	○必要に応じて改善(地方気象台)
	留萌開発建設部、旭川地方気象台		継続			■	■	■	■	■	■	■	■	○洪水情報のプッシュ型配信を平成29年5月1日より開始(留萌開建、地方気象台)	○継続実施(留萌開建) ○必要に応じて改善(地方気象台)
	■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備	洪水予報等をプッシュ型で情報発信するためのシステム構築	留萌開発建設部、旭川地方気象台	継続			■	■	■	■	■	■	■		
		高齢者に配慮し、防災ラジオなど様々な情報伝達手段の整備を検討	留萌市	継続	■	■	■	■	■	■	■	■	■	○津波浸水想定区域内及び留萌川上・中流域並びに75歳以上一人暮らし高齢者世帯に対し、FM電波を使用した緊急告知防災ラジオの配布を継続(留萌市)	○継続実施(留萌市)
		水防拠点の整備、排水機場の耐水化(藤山地区、留萌市街地区)	留萌開発建設部	継続	■	■	■	■	■	■	■	■	■	○水防拠点の整備に向けた検討を実施(留萌開建)	○継続実施(留萌開建)
		危機管理型水位計の整備	留萌開発建設部、留萌振興局	完了			■	■	■	■	■	■	■		
	簡易型河川監視カメラの整備	留萌開発建設部	完了				■	■	■	■	■	■			
急激な水位上昇に対する円滑かつ迅速な避難行動のための取り組み	■情報伝達、避難計画等に関する事項	想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図・洪水氾濫危険区域図に基づき、避難経路途絶前の下流域への避難等を想定した避難場所・方法及び経路の見直しを実施し、地域防災計画へ反映	留萌市	継続	■	■	■	■	■	■	■	■	■	○既存ハザードマップの新規転入者への配布を継続するとともに、住民周知を実施(留萌市) ○新たな浸水想定等を踏まえたハザードマップの作成・周知方法を検討(留萌市)	○新たな浸水想定等を踏まえたハザードマップの作成・周知(留萌市)
		道路管理者との連携による、高規格道路の活用も含めた避難経路及び、避難行動の遅れに備えた高規格道路沿道施設の活用を検討	留萌開発建設部、留萌振興局、留萌市、消防、自衛隊、北海道警察	継続			■	■	■	■	■	■	■	○避難経路の検討支援及び水防活動の拠点を検討(留萌開建) ○道道を避難の支援路として、適宜市に提供(留萌振興局) ○浸水リスク地域における、ICの一角を含めた具体的な避難場所等の整備に向けての協議を実施(留萌市) ○道路情報を迅速に入手するため関係機関との連携を強化(消防) ○道路管理者との連携及びインターネットを活用して、北海道開発局「北海道地区道路情報」等により道路情報を入手(自衛隊) ○留萌地方道路防災連絡協議会への参加や防災担当者が各関係機関と情報共有を行っている(北海道警察)	○継続実施(留萌開建、留萌振興局、消防、自衛隊、北海道警察) ○浸水リスク地域における避難場所等整備に関する説明会及びニーズ調査の実施(留萌市)
		タイムラインを活用した関係機関との連携による訓練の実施及び精度向上	留萌開発建設部、留萌振興局、留萌市、消防、旭川地方気象台、自衛隊、北海道警察、JR	継続			■	■	■	■	■	■	■	■	○洪水予報発表訓練を実施(年7回)(留萌開建) ○流域タイムラインの作成(留萌開建) ○留萌ダム洪水対応演習(R4.5.12~13)(留萌振興局、留萌市) ○堤防決壊時の緊急対策シミュレーションに参加(R4.7.26)(留萌市) ○情報伝達訓練へ参加し、関係機関との情報共有を図る(消防) ○大雨特別警報発表、警報への切替時の留萌川洪水予報(臨時)発表訓練(R4.5.13)(地方気象台) ○訓練成果の情報共有を実施(自衛隊) ○自治体等が主催する防災訓練や避難訓練に参加(北海道警察)

留萌川の減災に関する取組方針 フォローアップ

留萌川 資料4

大項目	中項目	小項目	取組機関	目標時期	スケジュール(上段:計画、下段:実績)								R4取組内容	R5以降取組内容	
					H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4				
急激な水位上昇に対する円滑かつ迅速な避難行動のための取り組み	■情報伝達、避難計画等に関する事項	住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイ・タイムライン作成のサポートを充実させる	留萌開発建設部、留萌振興局、留萌市	～令和7年度							■■■■■	■■■■■	○るもい川まつりで来場者を対象にマイ・タイムラインの説明、逃げキッドの配布を行った(留萌開建) ○防災訓練や町内会単位での防災講話を通じたマイ・タイムラインの住民周知(留萌市)	○継続実施(留萌開建、留萌市) ○市からマイ・タイムライン作成に係る要請があった場合に支援等(留萌振興局)	
		各地域における避難指示等の発令を判断するための情報や、住民への情報伝達方法・伝達内容についての市職員向けマニュアルの作成及び、地域防災計画の見直し	留萌市	継続	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	○避難情報の改正に関する町内回覧(全戸回覧)、市広報誌への掲載(留萌市) ○職員によるコミュニティFM放送を活用したブッシュ型防災情報発信訓練の実施(留萌市) ○浸水害に対応した留萌市タイムラインを策定(留萌市)	○継続実施(留萌市) ○地域防災計画の改定(留萌市) ○留萌市タイムラインの庁内共有、随時見直し(留萌市)	
		高齢者における水平避難のための時間や逃げ遅れ等により垂直避難となった場合等を考慮した避難場所等の確保・訓練等に関する取組を促進	留萌開発建設部、留萌市、消防、自衛隊、北海道警察	継続	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	○必要な情報を収集し、取組機関へ情報提供(留萌開建) ○避難行動要支援者の名簿を作成し、消防・警察・自治会長等の関係機関に配布(留萌市) ○個別避難計画作成に向け、対象者に対する同意確認を含む基礎調査を実施(留萌市) ○避難訓練で消防的観点から指導・助言をする。又、ハザードマップを活用し避難場所、避難経路の確認を実施(消防) ○訓練成果の情報共有を実施(自衛隊) ○自治体を実施する避難訓練に参加(北海道警察) ○交番、駐在所勤務員への避難場所・避難経路の周知を実施(北海道警察) ○各駐在に対し、管内避難場所や氾濫しやすい河川について教養を実施(北海道警察)	○継続実施(留萌開建、留萌市、消防、自衛隊、北海道警察) ○基礎調査の結果を踏まえた個別避難計画作成方法の検討(留萌市)
		分かりやすい洪水予報伝文への改良	留萌開発建設部、旭川地方気象台	継続	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	○H29.4より運用(留萌開建) ○警戒レベルの追記(R1.5～)(留萌開建) ○指定河川洪水予報の氾濫危険情報を予測でも発表(R4.6)(地方気象台)	○継続実施(留萌開建) ○必要に応じて改善(地方気象台)
		気象情報発信時の「危険度」や「警報級の現象」の表示の改善	旭川地方気象台	継続	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	○線状降水帯による大雨の可能性を半日程度前から呼びかけ(地方気象台) ○キキクル(危険度分布)「黒」の新設と、「うす紫」と「濃い紫」の統合(地方気象台) ○大雨特別警報(浸水害)の指標の改善(地方気象台)	○必要に応じて改善(地方気象台)
		要配慮者利用施設における避難確保計画作成・訓練の実施	留萌開発建設部、留萌振興局、留萌市	～令和7年度								■■■■■	■■■■■	○必要な情報を収集し、取組機関へ情報提供(留萌開建) ○訓練未実施施設に対する訓練実施の働きかけ及び訓練のサポートを実施(留萌市)	○継続実施(留萌開建、留萌市) ○市から避難確保計画・訓練の実施に係る要請があった場合に支援等(留萌振興局)
	■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項	想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表	留萌開発建設部	完了	■■■										
		想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知	留萌市、JR	継続	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	○ハザードマップを活用した各ハザードの周知(留萌市) ○新たな浸水想定等を踏まえたハザードマップの作成、周知方法の検討(留萌市) ○留萌駅のほか、関係する無人駅4箇所の待合室にハザードマップを掲示(JR)	○継続実施(JR) ○新たな浸水想定等を踏まえたハザードマップの作成・周知(留萌市)
		想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたまるとまごごとハザードマップの作成と周知	留萌市	継続	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	○関係機関と協議(留萌市)	○継続実施(留萌市)
		小学生を中心とした留萌川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施	留萌開発建設部、留萌振興局、留萌市、消防、旭川地方気象台、自衛隊	継続	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	○管内の2校で防災教育を実施(留萌開建) ○学校単位ごとの防災教育(1日防災学校)を実施(留萌市) ○避難確保計画に基づく避難訓練の実施の呼びかけ(留萌市) ○訓練や講習会への積極的な参加、支援を行う(消防) ○1日防災学校への協力等機会をとらえて実施(地方気象台) ○水防訓練や講習会の開催結果を確認(自衛隊)	○継続実施(留萌開建、留萌市、消防、地方気象台) ○必要に応じて、市が実施する防災教育の後方支援(留萌振興局) ○関係部署及び関係者等との連携を継続(自衛隊) ○防災教育の実施を検討(北海道警察)

留萌川の減災に関する取組方針 フォローアップ

大項目	中項目	小項目	取組機関	目標時期	スケジュール(上段:計画、下段:実績)								R4取組内容	R5以降取組内容	
					H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4				
急激な水位上昇に対する円滑かつ迅速な避難行動のための取り組み	■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項	関係機関の職員及び住民を対象とした水防災に関する講習会の開催	留萌開発建設部、留萌振興局、留萌市、消防、旭川地方気象台、自衛隊、北海道警察、JR	継続										<ul style="list-style-type: none"> <li>○4月～10月にかけて毎月1回随門操作訓練を実施(留萌開建)</li> <li>○北海道地域防災マスターが最新の防災知識を習得することにより、地域防災力のより一層の向上を図ることができるよう、「北海道地域防災マスターフォローアップ研修会」を開催(R4.12)(留萌振興局)</li> <li>○水防技術講習会に参加</li> <li>※R4はコロナ感染拡大防止のため未実施(留萌市)</li> <li>○水防災に関する各種防災訓練への参加(消防)</li> <li>○自治体職員を対象に、ZOOMを活用した気象解説を「あなたのまちの予報官TV」として週2回実施して気象状況の注意喚起を実施(R3.12～)(地方気象台)</li> <li>○土砂・洪水災害を想定したワークショップを自治体職員及び消防機関を対象に実施した(R4.8)(地方気象台)</li> <li>○関係機関及び関係職員等との連携を重視した防災訓練の実施(自衛隊)</li> <li>○小学校の避難訓練に参加し、防災講話を実施(北海道警察)</li> <li>○外国人に対する防災講話を実施(北海道警察)</li> <li>○災害に対する列車運行基準及び警備方法の確認及び関係社員への教育(毎年)(JR)</li> <li>○各駅が位置する地域のハザードマップの社内周知(JR)</li> </ul>	○継続実施(留萌開建、留萌振興局、留萌市、消防、地方気象台、自衛隊、北海道警察、JR)
		コミュニティFM放送やホームページ等を活用した、住民の水防災意識啓発のための広報の充実	留萌開発建設部、留萌振興局、留萌市、消防、旭川地方気象台、北海道警察	継続											<ul style="list-style-type: none"> <li>○浸水想定区域図や水ビジョンに基づく取組状況等をHPにより公表(留萌開建)</li> <li>○エフエムもえるにて、水防意識啓発のための広報を実施(留萌開建)</li> <li>○逃げなきゃコールの動画配信(振興局庁舎ロビー)(留萌開建)</li> <li>○HPに水防災意識啓発に係る情報を掲載(留萌振興局)</li> <li>○市広報誌への防災コラムの掲載(毎月)(留萌市)</li> <li>○市HPにて住民の意識啓発に係る情報を掲載(留萌市)</li> <li>○コミュニティFM放送を活用した災害情報伝達訓練の毎月実施による、住民の防災意識の高揚(留萌市)</li> <li>○訓練や講習会で情報共有を図り、消防主催のイベント等で情報を発信する(消防)</li> <li>○コミュニティFMで定期的(月2回)に気象防災の普及啓発を実施(地方気象台)</li> <li>○HPを活用した気象防災の普及啓発を実施(地方気象台)</li> <li>○各交番、駐在所作成のミニ広報紙により、地域住民全体に広報を実施(北海道警察)</li> </ul>
社会経済被害軽減のための的確な水防活動に関する取り組み	■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項	毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、水防団や住民が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	留萌開発建設部、留萌振興局、留萌市、消防、自衛隊、北海道警察、JR	継続										<ul style="list-style-type: none"> <li>○最新の情報により、重要水防箇所の見直しを行った(留萌開建)</li> <li>○関係機関とともに重要水防箇所の共同点検を実施(R4.6.30)(留萌開建)</li> <li>○留萌川重要水防箇所合同巡視参加(R4.6.30)(留萌振興局、留萌市、北海道警察)</li> <li>○重要水防箇所の変更点等確認を行い職員に周知する(消防)</li> <li>○重要水防箇所の見直し状況及び共同点検の成果を確認(自衛隊)</li> <li>○災害危険箇所の見直しを含めた災害警備計画の更新、職員への周知を実施(北海道警察)</li> <li>○水害を含む各種災害に関連した危険箇所を確認し、災害警備計画を随時更新(北海道警察)</li> </ul>	○継続実施(留萌開建、留萌振興局、留萌市、消防) ○見直し・点検成果を継続的に確認し、水防態勢を維持(自衛隊)
		関係機関が連携した急激な水位上昇を想定した水防訓練を継続実施	留萌開発建設部、留萌振興局、留萌市、消防、旭川地方気象台、自衛隊、北海道警察、JR	継続											<ul style="list-style-type: none"> <li>○水防訓練の実施を検討(留萌開建)</li> <li>○洪水演習を実施(留萌振興局)</li> <li>○水防技術講習会に参加</li> <li>※R4はコロナ感染拡大防止のため未実施(留萌市、地方気象台)</li> <li>○訓練に参加し、関係機関との連携を図る(消防)</li> <li>○各自治体等が実施する防災訓練等に参加(自衛隊)</li> <li>○留萌ダムによる洪水演習に参加(北海道警察)</li> <li>○留萌振興局主催の洪水演習に参加(北海道警察)</li> </ul>



留萌川の減災に関する取組方針 フォローアップ

大項目	中項目	小項目	取組機関	目標時期	スケジュール(上段:計画、下段:実績)								R4取組内容	R5以降取組内容			
					H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4						
社会経済被害軽減のための的確な水防活動に関する取り組み	■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項	迅速な水防活動を支援するため、中上流部における一時的な保管方法を検討の上、水防資機材を充実	留萌開発建設部、留萌振興局、留萌市、消防、自衛隊	継続	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	○水防連絡協議会等を通じ、最新の水防資機材確保状況を関係機関に情報提供した(留萌開建) ○水防資機材の確保状況を関係機関へ提供し、情報を共有(留萌振興局、留萌市) ○水防活動を迅速に行うため各種資機材の維持管理を徹底する(消防) ○災害派遣資機材等の充実(自衛隊)	○継続実施(留萌開建、留萌振興局、留萌市、消防) ○災害派遣資機材を確認を継続的に行い、情報共有により支援態勢を維持(自衛隊)	
		的確な水防活動等を実施するため、リーフレットの配布やポスター掲示を通じ、水防団員数の確保を図る	留萌市、消防	継続	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	○各消防団施設や公共施設における消防団員募集ポスターの掲示などの広報活動の実施(留萌市) ○消防庁舎へポスター掲示、消防主催のイベント等で水防団員募集案内資料の配布を行う(消防)	○継続実施(留萌市、消防)
		自衛隊等の災害派遣要請に係る調整方法について確認	留萌開発建設部、留萌振興局、留萌市、自衛隊	継続	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	○協議会等の場を活用し、自衛隊等の災害派遣要請に係る調整方法について確認(留萌開建) ○全道振興局防災係長会議において、災害派遣要請の調整方法を確認(R4.4)(留萌振興局) ○自衛隊災害派遣に係る研修を開催(北海道)(R4.11.15)(留萌振興局) ○自衛隊の災害派遣に係る研修会に参加(留萌市) ○自治体との連絡体制について確認するとともに、連絡幹部の差し出しを準備(自衛隊)	○継続実施(留萌開建、留萌振興局、留萌市) ○自治体との連絡体制、調整要領について情報共有、意見交換(自衛隊) ○連絡幹部派遣を準備(自衛隊)
	■拠点施設等の自衛水防の推進に関する事項	浸水想定区域内の拠点施設(警察、病院等)に対し水害リスクについての情報共有を図り、耐水化を促進	留萌市、消防	継続	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	○防災ガイドマップ等の配布を通じ、水害リスクに関する情報共有を図り、耐水化を促進(留萌市) ○浸水想定区域内の拠点施設の位置及びハザードマップ等を確認し、避難場所などを確認(消防)	○継続実施(留萌市、消防)	
社会経済活動の早期復旧のための氾濫水の排水、施設運用等に関する取り組み	■氾濫水の排水、施設運用等に関する取り組み	想定最大規模の洪水を想定し、資機材の配置・搬入経路・排水ルート等を考慮した排水計画を作成	留萌開発建設部、留萌振興局、留萌市、消防、自衛隊、北海道警察	継続	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	○留萌川排水準備計画(排水作業手順書)の共有(留萌開建) ○留萌市防災会議で情報共有(留萌振興局) ○排水ポンプ車の設置が必要な個所に係る情報(排水方法や排水に関する要望など)を留萌開建に提供(留萌市) ○資機材の点検及び、排水計画等を再度確認する(消防) ○各自治体等の作成した排水計画を確認(自衛隊) ○市防災担当者との情報共有や連絡体制の確立を図る(関係機関担当者と随時、連絡を取り合っている)(北海道警察)	○継続実施(留萌開建、留萌振興局、留萌市、消防、自衛隊、北海道警察)	
		訓練を通じ、排水ポンプ車等の災対車の出動要請に係る関係機関との調整方法について確認	留萌開発建設部、留萌振興局、留萌市、消防、自衛隊	継続	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	○水防連絡協議会において、出動要請に必要な事項を説明(R4.4.26)(留萌開建) ○水防連絡協議会に参加(留萌振興局、留萌市) ○関係機関と情報共有を図り訓練等へ参加する(消防) ○各自治体等の作成した排水計画を確認(自衛隊)	○継続実施(留萌開建、留萌振興局、留萌市、消防、自衛隊)